

2020年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

1. 動向

2020年4-6月の延べ宿泊者数（全体）は「469,149人」、前年同期比で「-75.2%」でした。

日本人延べ宿泊者数は「466,109人」、前年同期比で「-71.8%」でした。

外国人延べ宿泊者数は「3,040人」、前年同期比で「-98.7%」でした。

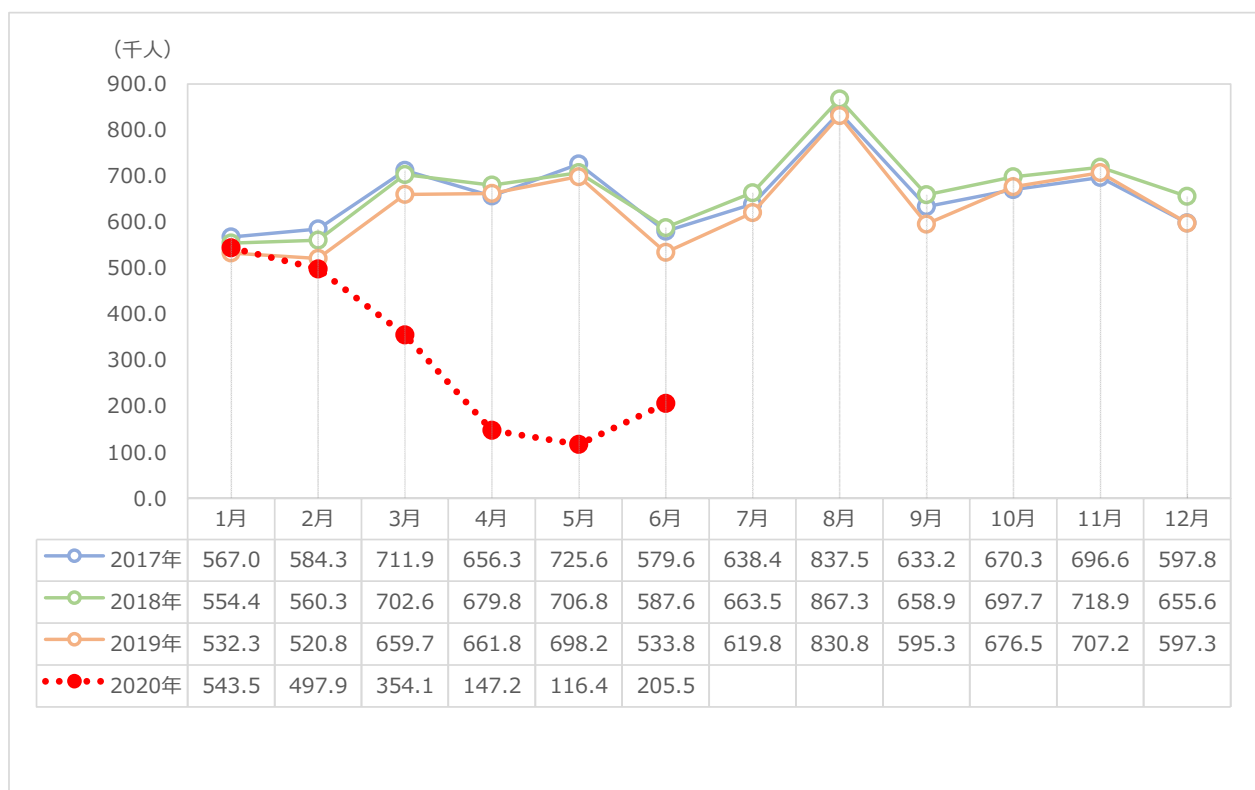
2. 延べ宿泊者数

総数：	469,149	人	（前年比： ▲75.2 %）
4月：	147,240	人	（前年比： ▲77.8 %）
5月：	116,378	人	（前年比： ▲83.3 %）
6月：	205,531	人	（前年比： ▲61.5 %）

※前年比・・・2019年2Qとの比較

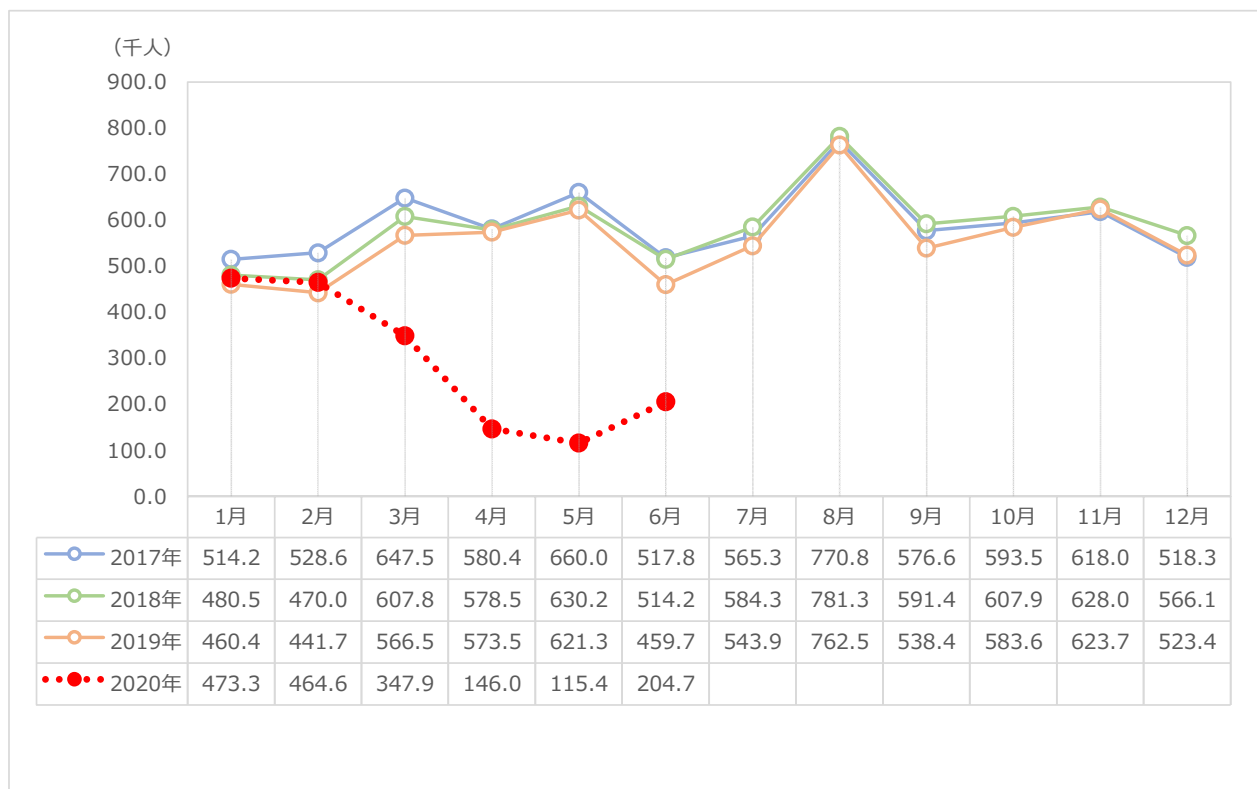
3. 推移

① 延べ宿泊者数（全体）

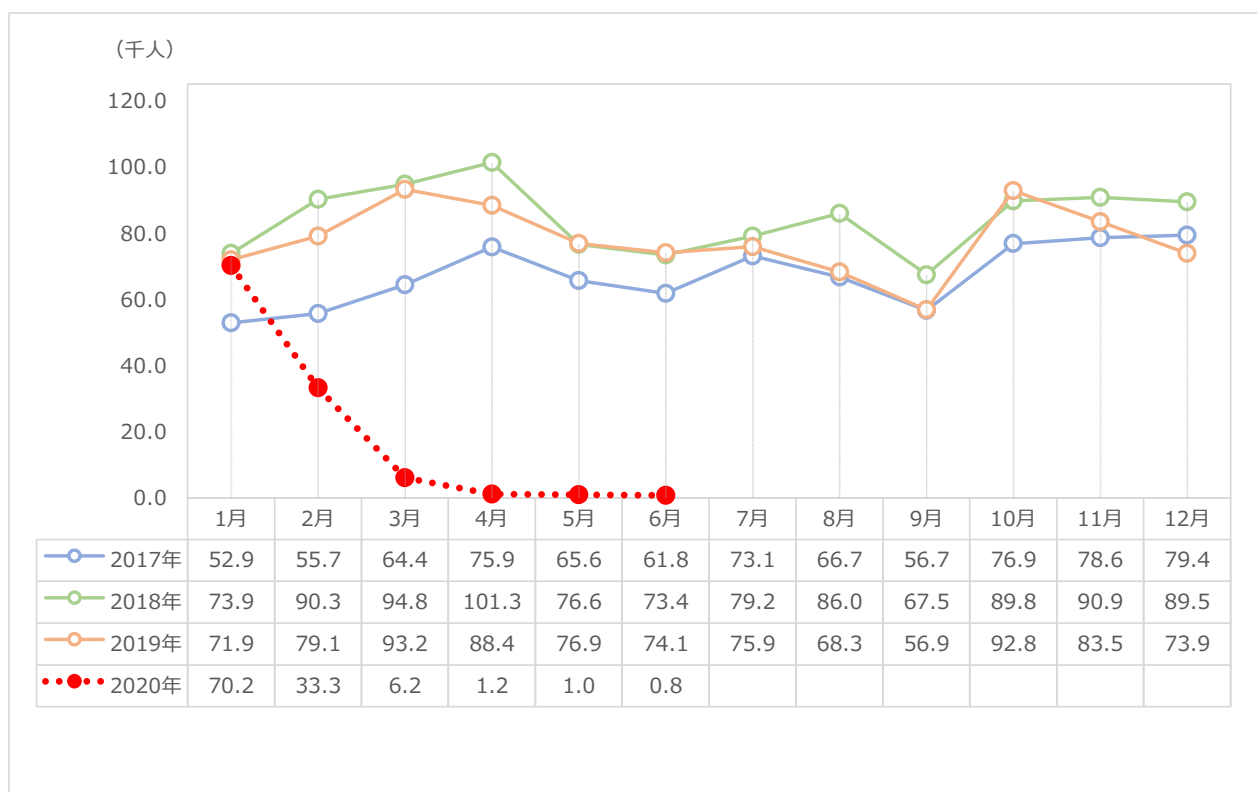


2020年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

② 日本人延べ宿泊者数

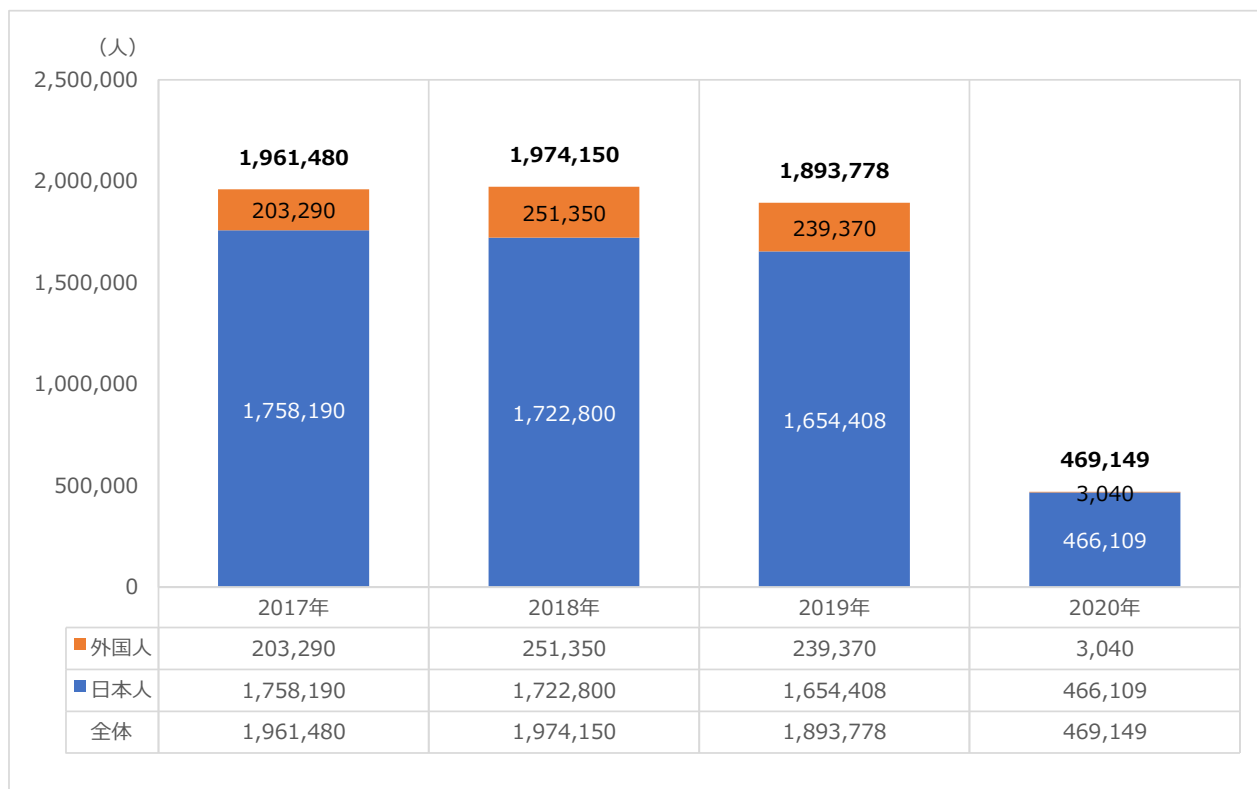


③ 外国人延べ宿泊者数

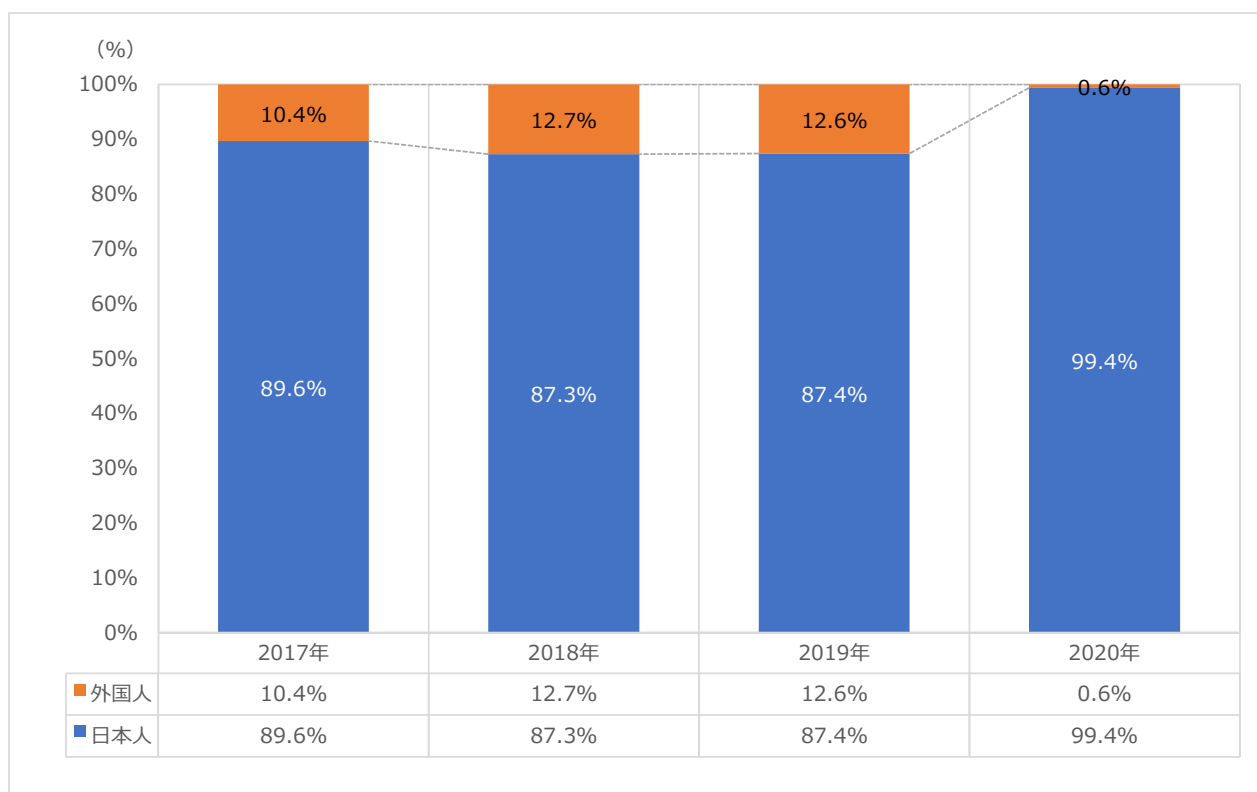


2020年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

4. 日本人・外国人別宿泊者数



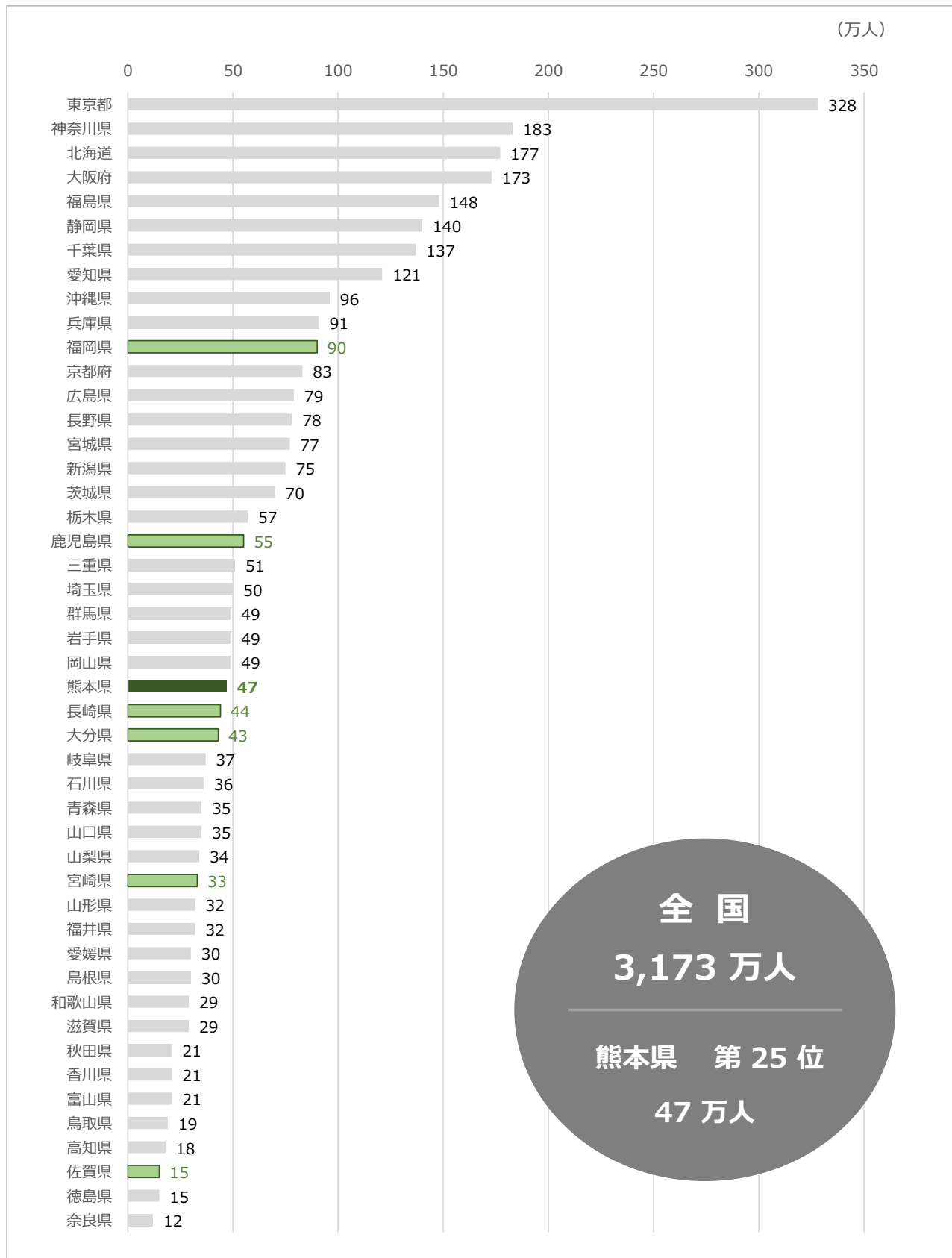
5. 日本人・外国人別割合



2020年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

6. 都道府県別延べ宿泊者数

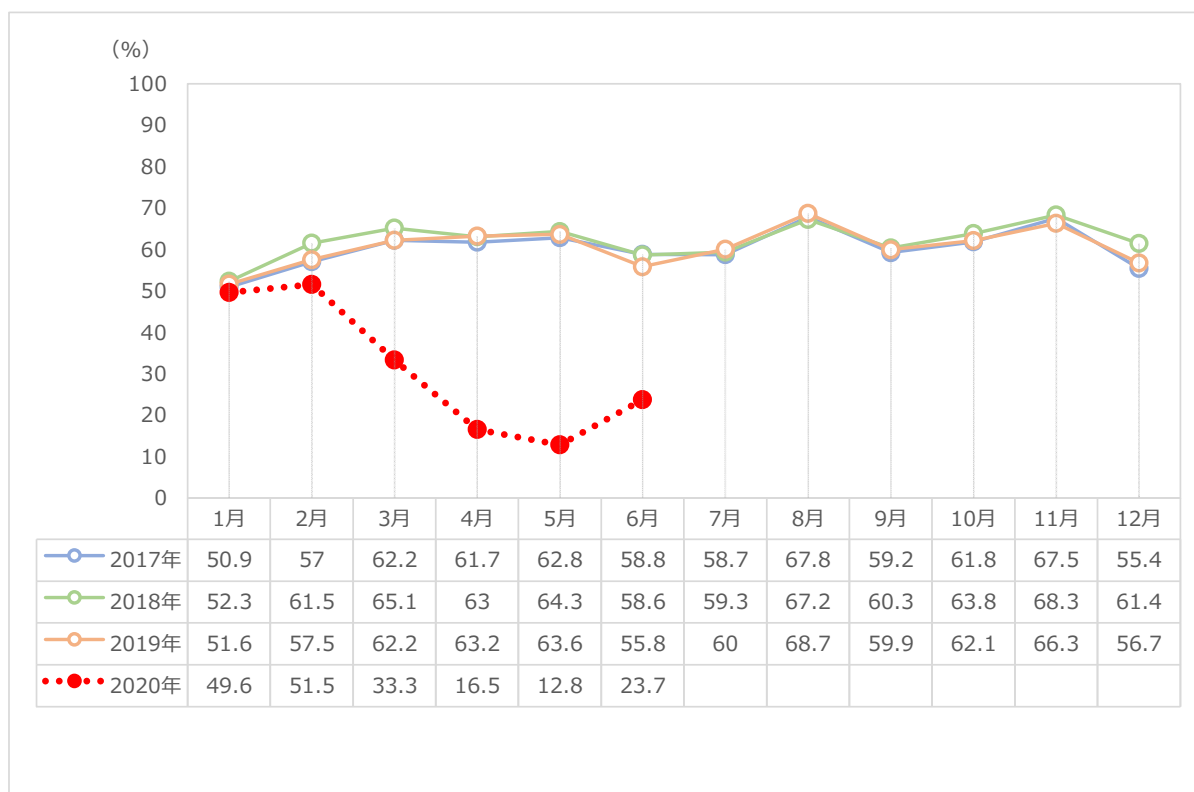
※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用



2020年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

7. 客室稼働率

① 推移



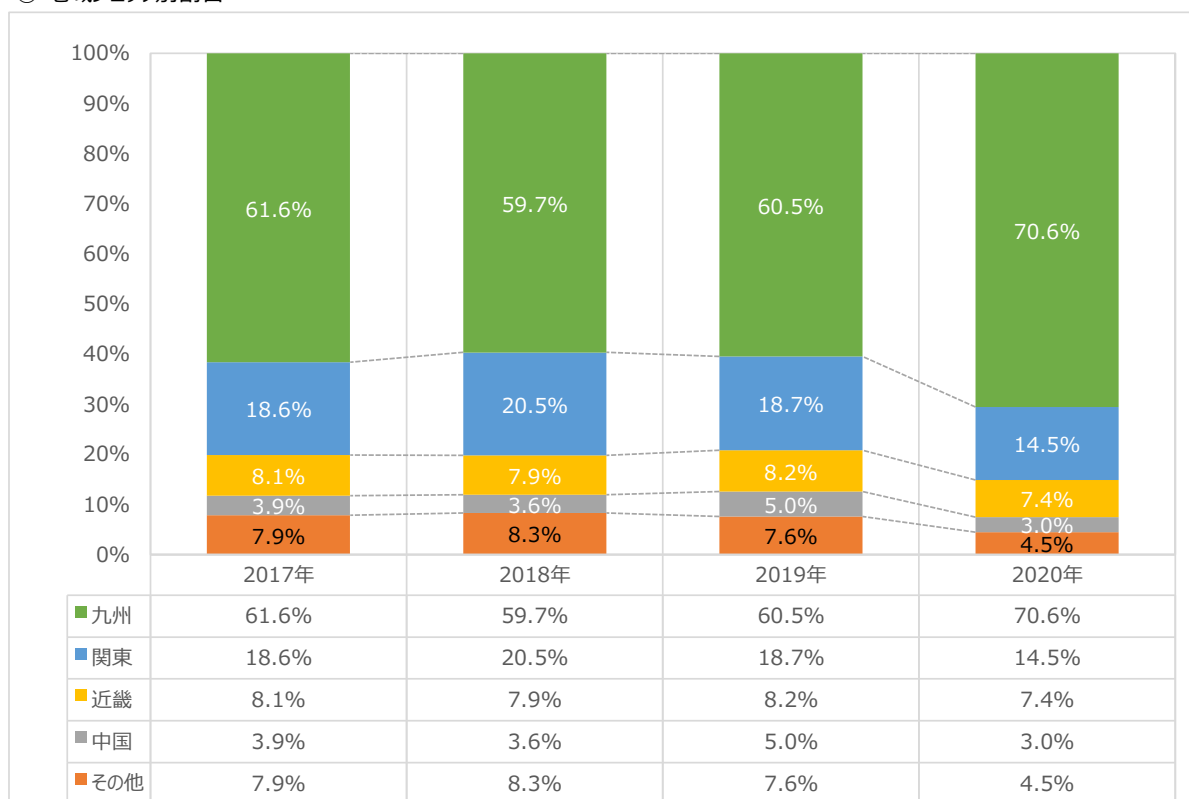
① 施設別稼働率

施設	2019年			2020年		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月
全体	63.2%	63.6%	55.8%	16.5%	12.8%	23.7%
旅館	44.6%	46.0%	35.9%	6.2%	4.3%	11.8%
リゾートホテル	55.7%	57.8%	40.8%	4.1%	2.3%	10.2%
ビジネスホテル	81.6%	81.3%	76.3%	26.7%	22.5%	38.3%
シティホテル	79.3%	77.6%	77.3%	14.6%	9.8%	20.6%
簡易宿所	29.0%	29.0%	22.9%	6.2%	2.9%	7.4%
会社・団体の宿泊所	23.7%	20.6%	19.0%	2.7%	1.7%	4.7%

2020年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

8. 国内発地別延べ宿泊客数（従業者数100人以上の施設）

① 地域ブロック別割合



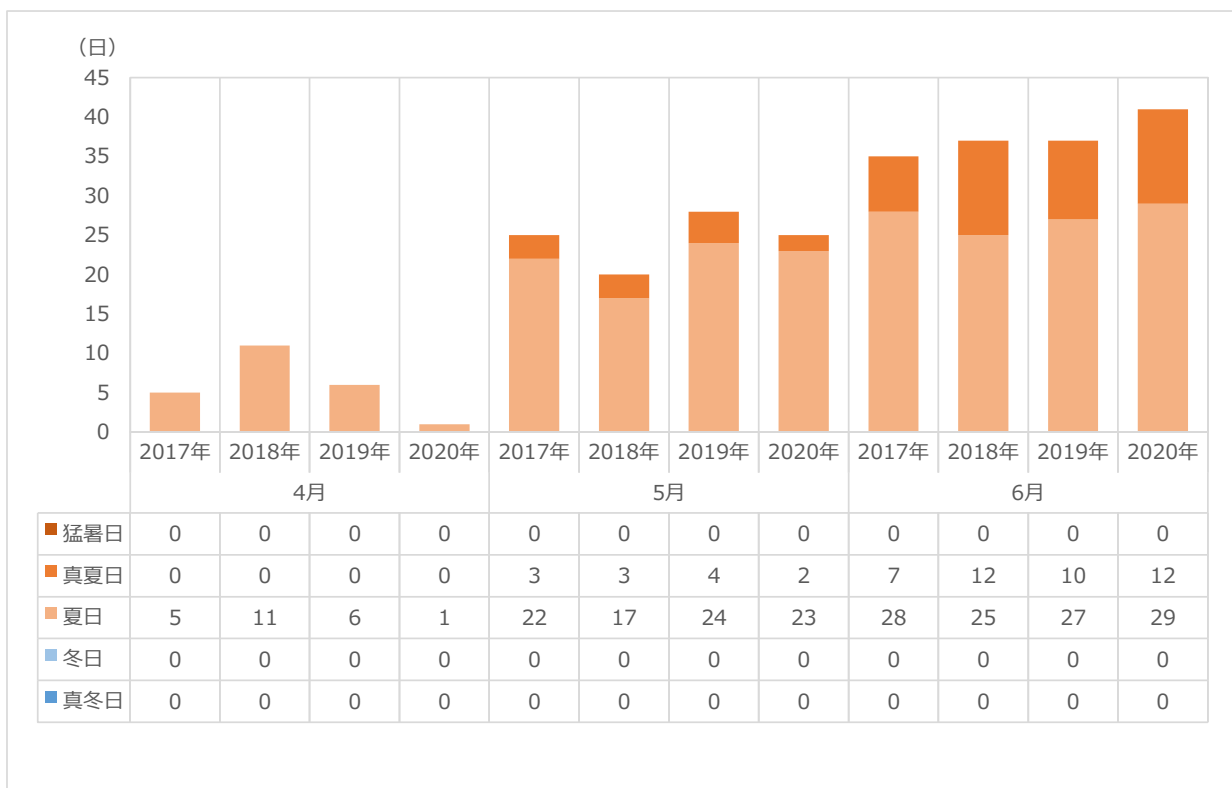
② 都道府県別順位（上位10都道府県）

ランキング	2019年		2020年	
1	福岡県	27,455人	熊本県	5,258人
2	熊本県	15,510人	福岡県	3,911人
3	東京都	10,655人	東京都	1,373人
4	鹿児島県	7,266人	鹿児島県	565人
5	大阪府	4,058人	大阪府	561人
6	神奈川県	3,285人	長崎県	432人
7	宮崎県	3,066人	神奈川県	431人
8	大分県	2,794人	大分県	429人
9	長崎県	2,650人	宮崎県	406人
10	兵庫県	2,134人	佐賀県	355人

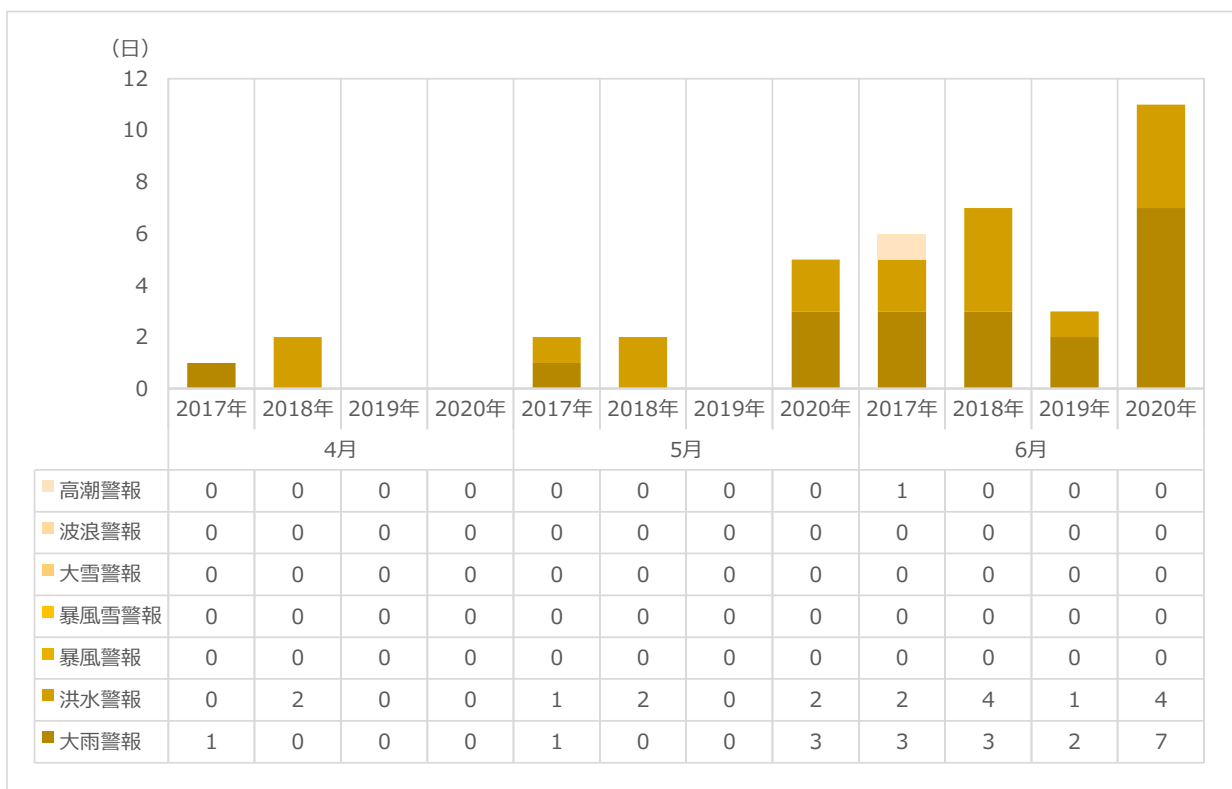
2020年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

9. 気象情報

① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日の観測日数（熊本観測所（熊本市））



② 県内警報発令日数



2020年2Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

10. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など 【特記事項がない場合は空欄】

▽ 地域のトピックス ▽

- ・阿蘇くまもと空港が民営化（4/1）、仮ターミナルビルが開業（4/7）
- ・福岡県など7都府県に政府による緊急事態宣言が発出（4/7）
- ・熊本県含む全都道府県で政府による緊急事態宣言が発出、県境をまたぐ移動の自粛を要請（4/16）
- ・緊急事態宣言発出により、多くの観光施設が休園に
- ・政府、熊本県含む39道県での緊急事態宣言を解除も、県境をまたぐ移動の自粛要請は継続（5/14）
- ・政府、全都道府県での緊急事態宣言を解除（5/25）
- ・政府、県境をまたぐ移動の自粛要請を解除（6/1）
- ・熊本県観光連盟が宿泊プランを先払いで販売する「さきやど」サイトを開設（6/3）
- ・「八代を創造した石工たちの軌跡～石工の郷に息づく石造りのレガシー～」が日本遺産に認定（6/19）

▽ 観光シーズンの動向 ▽

熊本県内、国内外での新型コロナウイルス感染拡大、そして緊急事態宣言の発出により観光需要が大きく減退し、春休みシーズン、ゴールデンウィークを含め宿泊客が全く伸びなかった。特に5月は客室稼働率が過去最低を記録した。

熊本県宿泊旅行統計調査について

1. 本調査は以下を調査結果として表章しています。

- (1) 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合
観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値
※新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国規制の影響で、外国人延べ宿泊者数が著しく少ないことから、「国籍（出身地）別外国人者数延べ宿泊構成比」「国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数・割合」の掲載を見送っている。
- (2) 気象情報
気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値
- (3) 地域のトピックス
メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの
- (4) 観光シーズンの動向
「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指数、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの

2. 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトバック集計」により県独自で算出しています。

3. 調査結果の整合については以下に注意が必要です。

- (1) 本調査内の数値
端数処理（表記のひとつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。
国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。
- (2) 他の同類・類似調査
調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。
⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など

* 本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。